

イベント開催の報告

「2007 情報セキュリティ人材育成シンポジウム 秋」開催

(ISC)2 Japn
杉本 毅

2007 情報セキュリティ人材育成シンポジウム 秋

ISEPA とシンポジウムについて

このたび、産官学による連携で情報セキュリティ人材の育成を目指す情報セキュリティ教育事業者連絡会 (Information Security Education Providers Association) が設立され、JNSAの傘下に入って活動を開始しました。これを記念して最初のイベント「2007 情報セキュリティ人材育成シンポジウム 秋」が11月14日、ベルサール九段にてJNSAとの共同主催で開催されました。

情報セキュリティ教育事業者連絡会はISEPA (イセバ) と略称されますが、産官学の連携による情報セキュリティ人材の育成を目指しています。シンポジウムには、およそ300人の参加者が来場し、国内外の情報セキュリティの専門家による講演、国内有識者に

よるパネルディスカッションなど、情報セキュリティ人材とその育成について様々なメッセージが発信されました。

ISEPAについての詳細は次のURL (<http://www.jnsa.org/isepa/>) をご覧になっていただければと存じますが、情報セキュリティ人材育成のための教育プログラムを運営する団体がメンバーになっています。業界横断的な人材育成支援体制を整備し、人材育成に関する情報を広く社会に発信し、また人材育成の拡大に向けた様々な取り組みを推進することを目的にしています。メンバーの運営する資格の位置付け、キャリアパスに対する共通認識の提示、施策提案、さらには各種教育機関との連携によるコンテンツの共同利用など、情報セキュリティ人材育成に関する様々な情報を社会に広く提供し、人材育成の拡大に向けた様々な取り組みを推進することを目指しています。



13:00-13:05	【主催者挨拶】	教育事業者連絡会 代表 与儀大輔
13:05-13:45	【来賓のご挨拶】	「情報セキュリティ政策の動向と人材育成について」 内閣官房情報セキュリティセンター 情報セキュリティ補佐官 山口 英 氏
13:45-15:05	【基調講演】	「アメリカにおける人材育成の現状と今後」 (ISC)2 Security Strategist/Former White House Cyber Security Advisor Mr. Howard Schmidt
15:05-15:20	休憩	

イベント開催の報告

15:20-16:05	【講演】	「教育事業者連絡会が目指すもの」 教育事業者連絡会 代表 与儀大輔 情報セキュリティ教育事業者連絡会 参加団体紹介
16:05-16:15	休憩	
16:15-17:50	【パネルディスカッション】	「日本における人材育成の現状・課題と解決策」 モデレータ： 与儀大輔 パネリスト： ・内閣官房情報セキュリティセンター(NISC) 参事官補佐 川野 真稔 氏 ・(株)NTTデータ ビジネスソリューション事業本部 DC-BUセキュリティ担当部長 西尾 秀一 氏 ・大成建設(株)社長室 理事 情報企画部長 木内 里美 氏 ・教育事業者連絡会会員代表 日本ユニシス株式会社 セキュリティビジネス企画室 長谷川 長一 氏

2007 情報セキュリティ人材育成シンポジウム 秋

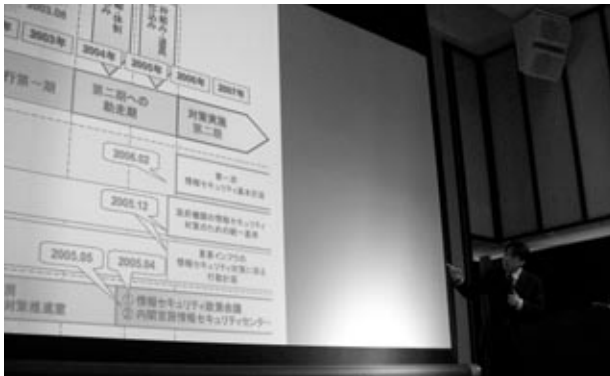
シンポジウムの概要

シンポジウムに先立ち、ISEPAについての記者発表を行いました。12社25名ほどのメディアの方が集まり、社会的な関心の深さを感じました。

最初の来賓講演として、内閣官房情報セキュリティセンター 山口英氏から、「情報セキュリティ政策の動向と人材育成について」と題して講演いただきました。この中で、情報セキュリティ政策や情報セキュリティ人材の育成について、日本政府として考えていることや問題意識についての認識が語られました。

ふたつ目は基調講演として、(ISC)2セキュリティ・

ストラテジストであるHoward Schmidt氏による「アメリカにおける人材育成の現状と今後」と題して講演いただきました。ここでは、米国における情報セキュリティの最新情報が報告され、情報セキュリティ人材の育成の重要性が提言されました。会場から、米国と日本の違いについての質問も出て活発な議論が行われたとともに、関心の高さも伺うことができました。



山口氏



シュミット氏

次に主催者側から、ISEPAについての説明と案内がありました。代表の与儀大輔氏は、「情報セキュリティ教育事業者連絡会が目指すもの」と題する講演の中で、「分かりやすい教育体系や資格制度の公開」、「求められるセキュリティ人材の安定した育成」、「情

報セキュリティ人材による社会貢献のサポート」、「情報セキュリティ業界を志す後輩たちが夢を持てる環境を構築すること」を達成目標に掲げ、ISEPAに設けられた3つのワーキンググループ(WG)の活動目標とロードマップが紹介されました。

スキルWGでは、来年2月をめどに、職種・スキル・アウトプットと既存の教育・資格制度を紐付けた「人材育成マップ」を作成し、「キャリアパス」を提示し、キャリア構築のための指針を提案していくそうです。相互認証WGでは、「資格継続プログラム相互認証」等を検討し、情報セキュリティ人材育成に携わる講師の育成や新規教育コンテンツ作成を視野に入れて活動を展開していくとのこと。イベントWGでは、年間3~4回のセミナーやイベントを開催するほか、各組織の有資格者数の把握などを目指します。これらWGは、ISEPA会員団体以外からも参加を募り、より積極的な活動を展開していくそうです。この後、ISEPA会員団体の各代表がステージに上がり、それぞれの団体の育成プログラムや資格試験などを紹介しました。

り巻く日本の現状、あるいは「現場」が直面する様々な課題に対して、それぞれの立場から活発な発言がありました。また、会場からも質問やコメントが出るなど関心の高さを物語っていました。

ISEPAでは、JNSAを基盤として、今後も積極的に活動を展開していくそうです。ISEPAの今後の活動にご興味があれば、ぜひご連絡を頂けるようお願いいたします。



パネルディスカッション

最後に、パネルディスカッションが、内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)川野真稔氏、大成建設株式会社 木内里美氏、株式会社NTTデータ 西尾秀一氏、日本ユニシス株式会社 長谷川長一氏をパネリストに迎えて行われました。「日本における人材育成の現状と課題」と題して、情報セキュリティを取